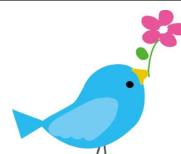


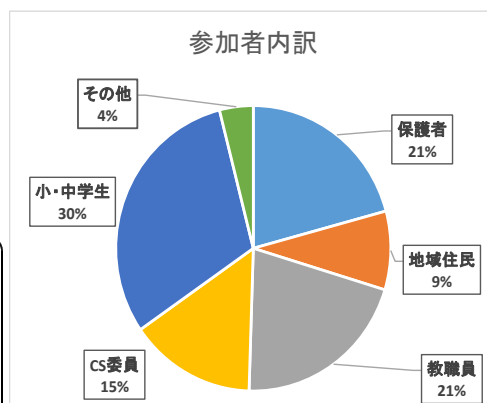
おおたま学園コミュニティ・スクールだより



令和7年3月17日発行 No.39 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
(事務局：大玉村教育委員会内 連絡先：48-3138)

【第6回コミュニティ広場(第16回教育フォーラム)を開催しました】

令和7年2月15日(土)改善センターに於いて、第6回おおたまコミュニティ広場(第16回大玉村教育フォーラム)が開催されました。今年は参加者を限定せず、村民が顔を合わせてのコミュニティ広場は来賓を含めて101名の参加により開催されました。小・中学生を始め様々な地域の方々にご参加いただき、和やかな中にも真剣な話し合いが行われました。



主催者挨拶＜概要＞

CS委員会会長 矢吹 吉信

みなさん、おはようございます。主催者を代表しましてご挨拶を申し上げます。～中略～

本日のコミュニティ広場は、歴史ある大玉村の教育には欠かすことのできない大切な行事となっております。大玉村の子どもたちが考えたふるさとの魅力や未来の可能性を皆さんで語り合い、そして、共有し、様々な視点から考えるきっかけになればと思っています。本日発表していただきます児童・生徒の皆さん、そして、ご指導いただきました先生方、本日まで本当にありがとうございました。この準備を通して、新たな大玉村の魅力を発見することができたのではないのでしょうか。ぜひ、今日は、自信を持って元気よく発表してください。楽しみにしています。それでは皆さん、本日はお世話になります。よろしくお願いします。

第1部 小・中学生の発表『大玉村の魅力と未来の可能性を発信しよう!』の概要

1 大山小学校5年生「大玉村の魅力見つけ隊! 伝え隊!」

(1) 大玉村の魅力

- ① 「日本で最も美しい村」連合に加盟
 - たくさんの美しい風景
 - ・南町の大ケヤキ
 - ・三日月の滝等 etc.
- ② 「甘くて美味しい大玉の米」の秘密
 - 安達太良山のおいしい水を使用
 - 8ヶ月続く農作業に一切手を抜かない。
- ③ 自然
 - 安達太良山
 - フォレストパークあだたら
 - 遠藤ヶ滝遊歩道 etc.

これからも大玉村の魅力を発信していきたい!

(2) 課題

- ① 野生生物への被害
 - ア ゴミのポイ捨てによるもの
 - ・動物がゴミ(食べ物の臭いのする容器)をあさりに来て交通事故に遭う。
 - ・ゴミを食べてしまい、身体にゴミがからまったり、ダニがついたりなど様々な悪影響
 - イ 交通事故によるもの
 - 「車にひかれてしまう」+「建物に衝突(鳥類)」= 年間220件
- ② 廃棄野菜 … 村では年間約600kgの野菜が廃棄されている。



【私たちが実践したこと】

- ◎ 5学年全体でゴミ拾いを計画し、実践!
- ◎ ポスターを作って掲示(車の速度注意、早めの点灯)
 - … 各種事業所、スーパー、コンビニ、レストラン、小売店、役場、改善センター etc.
- ◎ 規格外野菜を使ったレシピをつくり展示・配付(スーパー、直売所)

2 玉井小学校6学年「いつまでも安心・安全な大玉村のために」

○「過去－現在－未来」の大玉村について学習

(1) 本揃の田植踊(玉井の伝統文化)…5年生へ引き継ぎ(6月)

(2) 戊辰戦争、野口英世…修学旅行で学習(9月)

(3) 「オリンピックイヤー」をテーマに学習発表(11月)

・平和の大切さを再確認

(4) 災害・防犯・食糧問題について学ぶ

① 防犯について

・大玉村での犯罪…「泥棒」、「車上荒らし」等
・ネットによるトラブルが増加する可能性(詐欺、いじめ等)

② 交通事故等

・年間約200件発生(国道4号線付近。70歳以上が多い。田んぼへの落下事故<冬の凍結路>)
・自転車事故の原因(イヤホン、2人乗り、2列走行)

③ 様々な災害

ア 火災…増加傾向(たき火、たばこの不始末)

イ 地震…「自助」、「共助」、「公助」→防災ファイル、ハザードマップを用意

ウ 病気…生活習慣病(喫煙によるトラブルetc.)、虫歯・歯周病
手足口病、インフルエンザ・新型コロナ・マイコプラズマ肺炎等

④ 人口問題…子どもが少なく高齢者が多い。

・環境づくり(子育てしやすい、住みやすい、移住しやすい)

⑤ 食料問題

ア 食品ロス イ 米不足 ウ 農家の減少…米農家、酪農家の減少が顕著

エ 地球温暖化の影響…米の収穫量、漁獲量が減少



【まとめ】＝【大事にすること】

◎ 正しい知識をもって行動すること

○ ネットの怪しい情報に惑わされない。 ○ 身の周りの危険から自分自身を守る。

◎ 防災の備え(避難場所の確認、家族で集まる場所を決めておく、防災バッグの準備)

◎ コミュニケーション

○ あいさつ(普段からが大切)…気持ちや和らぐ。会話が弾む。雰囲気が明るくなる。情報共有をしやすくなる。防犯につながる。

3 大玉中学校「大玉村の『発展』と『継承』にむけて」

(1) 生徒会活動…スローガン「飛翔」

① あいさつ運動

ア 花いっぱい運動に参加(福島県森林・林業・緑化会長賞受賞)

イ 地域交通安全運動週間に参加→交通安全の横断幕をもって呼びかけ(あいさつにつなげる)

② 地域貢献

ア アルミ缶回収強化週間…ポスター設置、おおたま広報に掲載、校内放送でお知らせ

・昨年より多くのアルミ缶を回収→地域の施設の玩具を寄贈

③ 花畑運動

④ 虹の架け橋郵便運動 } 多くの生徒の参加があった。地域の方々と関わり、感謝の気持ちを伝えられた。今後も貢献を続けていく。

(2) 総合的な学習の時間の実践

① 1学年「ふるさとを知ろう大玉村の未来について」

・ドローンについて最先端の知識や技術を学ぶ

ア 教育班～教育とロボットの関わり<メリットを活かす>・教育の課題・ロボットの活用

イ 農業班～スマート農業

・データ技術を利用して生産システムと運営を最適化する農業

・ドローンの活用(農薬散布、農作物運搬)

ウ 観光班～大玉村の観光の未来

・歴史館、公共施設、田んぼアート etc.

・ドローンを活用して観光名所巡り



② 2学年「ふるさとを学ぼう」

ア 職場体験 … 8/26, 8/27

○ 接客業、農業、サービス業、教育関係等

・たくさんの学びや姿勢等多くを得た ・経験→自分の将来について深く考えられた

イ 友好の翼（台湾 大竹中学校）… 12/24~12/28

○ 文化交流 ○ デジタル化が進んだ教育体験 ○ 英語の学習 ○ ホームステイ

・台湾の文化を知るとともに、大玉村のよさを再確認することができた

③ 3年生の実践「ふるさとに貢献しよう」… 6つの分野に分かれて学習

ア 教育班

○ 「夢を育てる教育」（幼・小・中の連携について）

・自分たちで考えた手作り玩具を製作 → 幼稚園に届ける（一緒に遊ぶ）

イ 環境班

○ クリーン活動を実施（地域のゴミを回収、ポイ捨て禁止のポスターづくりと掲示）

ウ 農業班

○ 農業について学ぶ、農家を訪問、農業体験等

・担い手不足の問題。少しでも力になれるよう現状等をまとめ、文化祭でプレゼンをした。

エ 福祉・医療班

○ 介護や福祉について学ぶ・施設の訪問（「自主性」、「無償性」、「社会性」、「先駆性」の考え方）

オ 観光・流通班

○ 様々な方法でPRすることが大切（観光ポスター、うまいものマップづくり、大玉の魅力発信）

カ 国際協力班

○ J A I C Aからの学び（エチオピアの貧困、飢餓問題について）→ プレゼン、マチュピチュの料理を作りキッチン

カーを出店（文化祭）

【 まとめ 】 = 【 私たちができること 】

地域の方とつながりを通して、村外への発信や未来の後輩達に伝えていく持続可能な貢献

第2部のフリートークでの主な意見・アイデア等から

テーマ：「みんなが進んで学ぶようになるためにはどうしたらいいだろう？」

～読書・家庭学習の視点から～

幼稚園、小学校、中学校の先生方や保護者、地域住民、小・中学生が混在した14のグループを作り、上記のテーマについて話し合いました。その主なものについてお知らせします。

いろんな良いアイデアが出されています。1つでも2つでも結構ですので、ご家庭等で実際に試していただけたら幸いです。

進んで家庭学習をできるようにするには？

○ 学ぶ必要性を明確にすること 「なぜ勉強するのか」

- 自分自身の（成長の）ため
- 将来の夢や目標を達成するため（職業、資格など）
- 自分が行きたい高校・専門学校・大学などに入るため（受験）

○ 子どもが自分で決めること

- 自分で計画を立ててやる
- 1週間分の学習（宿題）スケジュールに合わせて、その日にあった計画を立てて取り組む。
- 学校の自学コーナーを参考にする
- 友達と自学ノートを共有する（見せ合う）
- 短時間から始める集中型学習（好きな教科）

○ 習慣化

- 自分で計画した時間に
- 小学校低学年→帰ったらすぐに宿題をする

○ 学びの空間づくり（環境）

- 集中しやすい空間を用意（リビング、子ども部屋等子どもがやりたい所で）

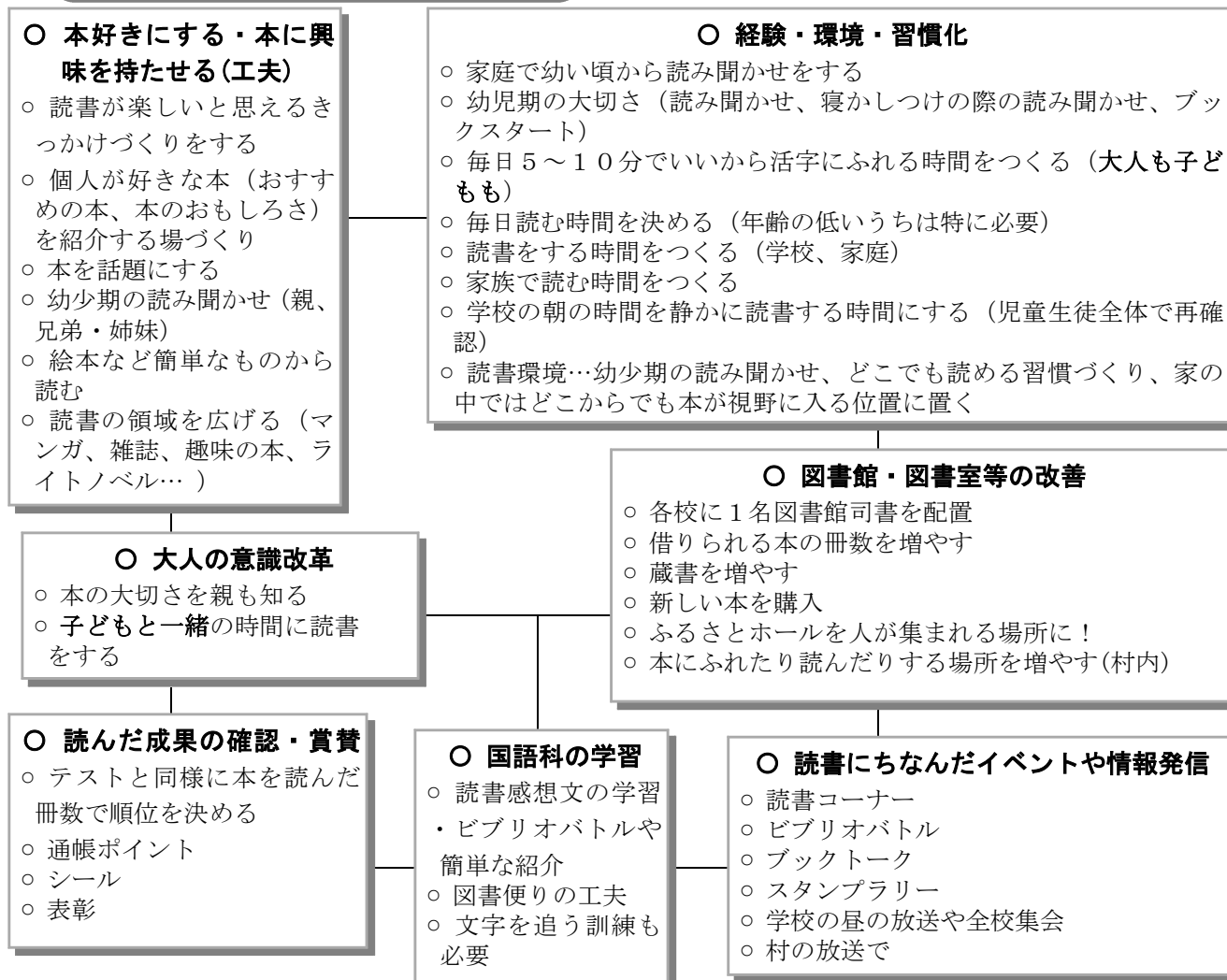
○ 親の関わり

- 親自身が学ぶ姿を見せる。（「お父さん、お母さんを見て！」〈生活の様子〉と伝えるように）
- 親子の会話量を増やす。（他の子と比較しない。ただ「勉強しろ」と言ってもやる気にならないことも…）
- 共に考える存在になる。（子どもをやる気にさせる言葉かけ。いつも見ているという姿勢を見せる。）

○ ゲーム、スマホ等

- ネットとの共存（家族でメリット、デメリットを再確認する）
- 家庭でルールを決める…「時間をコントロール」
 - ・学習時間と自由時間を区別する。
 - ・子どもに任せっきりではいけない。親も関わる。（制限すべきところはする）
- 友達との約束事を決める。（家庭のルールと合わせる）

進んで読書できるようにするには？



◇ 「第6回コミュニティ広場」アンケート集計結果について

1 第1部小・中学生の発表（プレゼン）について

○ 「とてもよい」84%、「よい」16%

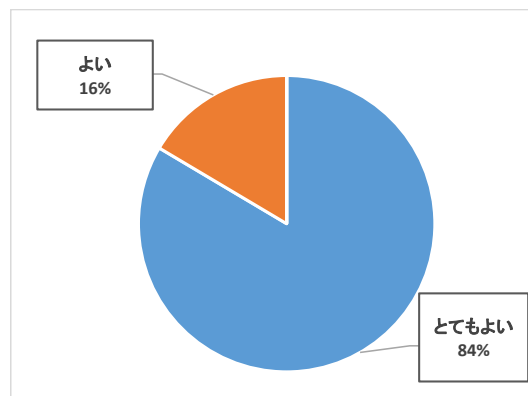
○ 主な記述内容

・他校の方たちと交流できて良かったです。これまでコミュニティ広場のために頑張ってきたことを全て出し切れて良かったです。とても達成感がありました。（小学生）

・小学生・中学生は、何十時間もかけて発表の準備をしました。発表の後に、数人でいいので大人からの感想発表や良かったところ、勉強になったところ等の発表があるといいな、励みになるなと思いました。（教職員）

・小・中学校の発表は、総合的な学習をテーマにしたもので、無理のない発表でよかったのかなと思います。立派な発表でした。（CS委員）

Q1 小・中学生の発表はいかがでしたか？



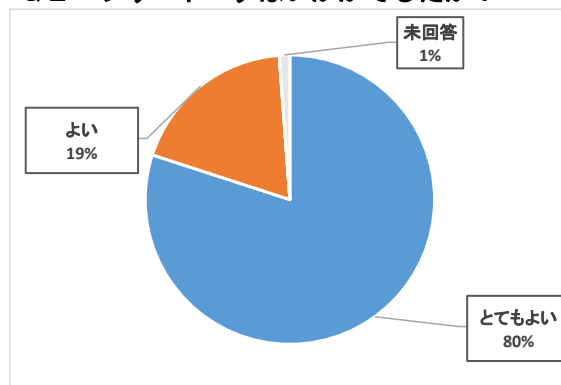
2 第2部フリートークについて

- 「とてもよい」80%、「よい」19%
「未回答」1%

○ 主な記述内容

- ・他の人の意見を聞いて納得する部分があり、自分もやってみようかなと思いました。そのことを忘れずに、これからも自分のやることに取り組みたいです。また、本を読む時間を増やしたいなと思いました。いい経験になりました。(小学生)
- ・小学生や大人の視点の話は中学生同士の話し合いでは出ないとても貴重なものだった。よい時間を過ごせた。この話を通して、自分にもできることは何か考えていきたい。(中学生)
- ・とても良い話が聞けたと思います。家庭でも取り入れていきたいと思う話ばかりでした。ありがとうございました。(保護者)
- ・フリートークで地域の方々と話し合い、アイディアを出し合ったことで様々な考えがあることにふれることができました。特に同じグループの小・中・大学生の発言が素晴らしく、今後の大玉の未来は明るいと感じました。開催にあたり準備等、大変お世話になりました。(教職員)
- ・自分は去年に引き続いての参加ですが、フリートークはいつも勉強になります。今年も小学生や中学生、保護者、教育関係者などいろいろな立場からの考えを聞くことができました。(CS委員)
- ・コミュニティ広場第1グループの発表はとても素晴らしいと思いました。話の中にありましたように、保護者の協力が不可欠であり、これをどのように伝えていくかが課題だと思います。(CS委員)
- ・村の人々が子どもを交えて同じテーマで語り合える、共通認識を持ち合える機会があるのが大玉村の魅力だと実感しました。(その他)

Q2 フリートークはいかがでしたか？



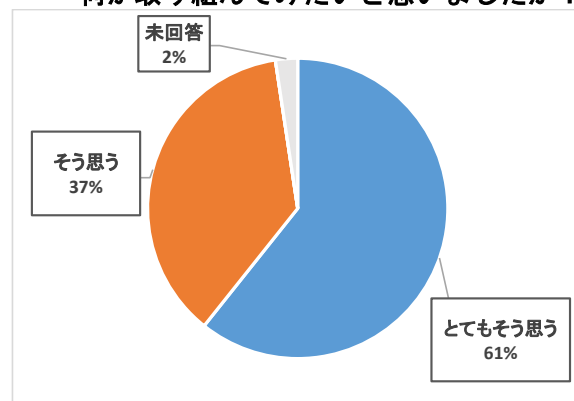
3 その他、全体的な感想、取り組んでみたいこと等

- 「とてもそう思う」61%、
「そう思う」37%、「未回答」2%

○ 主な記述内容

- ・矢吹会長さんのお話の通り、親の努力が必要不可欠だと感じました。自身の行動を改めて行きたいと思います。事務局の皆様お疲れ様でした。(保護者)
- ・すぐに出来るごみ拾いから始めたいと思いました。私は読書について話し合いましたが、家族みんなで本を読む時間を作ることから始めたいです。(CS委員)
- ・フリートークは全ての班の内容を聴いてみたいと思った。午前と午後で発表とフリートークの時間をつくっても良いと思う。昼食を食べながら話せるのも楽しそう。(その他)

Q3 今日の話し合いや発表から、自分でも何か取り組んでみたいと思いましたか？



4 今後のCSで取り組んで欲しいこと等

- ・CSなどでも学校への応援活動(学校の困り事や支援活動)を行いながら、児童生徒、先生の活動のバックアップができれば良いと思う。(CS委員)

5 コミュニティ広場で行ってほしいこと・話し合ってほしいこと

- ・ゲームは本当に絶対にやらない方がよいのか(中学生)
- ・今後村がどうすれば活発になるかについて話し合ってほしい。(中学生)
- ・①今子どもたちが望むこと ②魅力ある村づくりとは？(教職員)
- ・「地域の発展のために何をすればよいのか」について話し合っていたら面白い。(その他)

- ・キヨミルクの千葉清美さんにお話をしていただきたいです。横浜出身で大玉村に移住された千葉清美さんのお話を聞くと、大玉村の魅力にあらためて気付かされます。大玉村の酪農家や牧草地を守るために一人奮闘されている方なのでとてもためになります。子ども達の発表やグループごとの話し合いもいいですが、たまには講師の方のお話もいいのではないのでしょうか。千葉清美さんは、玉井小で授業をされているので45分くらいのお話なら、すでにまとまっています。何かの機会にお話を聞くことができれば、村の方は元気が出ると思います。(教職員、他に講演会希望1人)
- ・一番考えてほしい小・中学校に子どもがいる保護者の参加が増える方法を考えることが、最も重要であると感じました(魅力ある内容、参加したくなる内容、周知方法等)。参観日やPTA総会等保護者が集まる機会に合わせて開催してみたいはかがでしょうか。(保護者)
- ・発表もせっかくの機会なので、村の方々がもっと気軽に参加できるような形でも面白いのではないかと思います。(教職員)
- ・前にも話しましたが、授業参観の後に、保護者を対象とした講演、研修等を実施できたらと思います。コミュニティ広場に参加された保護者の方々はよく理解されておりました。(CS委員)
- ・例えば、「過去に挙げられた意見やアイデアが村の教育やあるいは村政等に実際に活かされた！」等の事前情報があれば、より良いディスカッションになるのでは？このイベントがどのように活かされているのかのフィードバックが、参加者のモチベーションにつながると思います。(その他)